

PRESS KIT

PIAGET

シェイプ オブ
エクストラレガンザ



ピアジェは新たな遊び心あふれる
ハイジュエリーコレクションを発表し、
メゾンと芸術、デザインとの関係性に
新たな視点をもたらします。



「シェイプ オブ エクストラレガンザ」は、大胆で変幻自在、遊び心に満ちたエレガンスという、メゾンの揺るぎないスタイルの本質に深く迫ります。昨年の「エッセンス オブ エクストラレガンザ」に続く本作は、1960～70年代に根ざしたピアジェの創造性を紐解く、3部作の第2章です。コンセプトを最大限に引き出しながら現代的に再構築し、デザインとクラフツマンシップの限界を押し広げます。既成概念を超えて、メゾンが誇る大胆さと独創性が、再び輝きを放ちます。

「シェイプ オブ エクストラレガンザ」は、ピアジェが芸術やアーティストたちと築いてきた力強い絆を映し出し、メゾンとサルバドール・ダリやアルマン、アンディ・ウォーホルといった人物との名高いコラボレーションにオマージュを捧げます。それは、イヴ・ピアジェの親しい友人たち、ピアジェ ソサエティと呼ばれたアーティストや知識人たちとの交友から、自然に生まれたコラボレーションです。イヴ・ピアジェの情熱を原動力に、ピアジェのクリエイティブチームの創造力や偉大なウォッチデザイナー、ジャン・クロード・ゲイトの才能、そして職人たちの卓越した技術により生まれたこれらのコラボレーションは、ジュエリーを芸術とデザインにおける新たな高みに引き上げました。1969年にバーゼルで発表されたピアジェの「21st Century」コレクションのジュエリーウォッチは、社会的変革の中で生まれた熱狂と興奮、芸術、デザイン、ファッション、建築、そして新しく自由な表現を見事に捉えた作品でした。同じように活気に満ちた興奮の中で、今日、「シェイプ オブ エクストラレガンザ」はアヴァンギャルドな要素を取り入れ、目を見張るような現代性と文化的な深みを持つジュエリーを発表し、現代アートとデザインの世界で新たな地位を築きます。

PIAGET

思いがけない出会い

2025年のエクストラレガンザシリーズのハイジュエリーコレクションは、ピアジェの伝統に深く根ざしています。実験的で意外性のある魅力を備えながらも、親しみのある温かさを感じさせる「シェイプ オブ エクストラレガンザ」は、形や色、質感、光、そしてボリュームの探求であり、ピアジェの遊び心溢れるシェイプが極めて洗練された形で進化を遂げた作品です。スクエア、トライアングル、ジグザグ、ウェーブ、サークルといった形が重なり合い、交差し、楽しげに絡み合う、彫刻的かつ概念的なデザインで、流動的な美しさと精密さが見事に調和しています。ピアジェは51点の作品を通じて、グラフィックなライン、幾何学的な角度、細長い三角形、そして有機的で自由なフォルムや官能的な曲線を取り入れ、ポップアートやオブアート、70年代のファッションに見られるうねるようなサイケデリックパターン、また60年代のデザインアイコンに見られる丸みを帯びた、ふくよかな輪郭を巧みに表現しています。1970年代の社会を特徴付けるハイローミックスのカルチャーを反映し、ハイジュエリーがポップカルチャーと出会います。

PIAGET





各ジュエリーセットは、それぞれ異なる芸術的表現を通じて、時間が溶け合うように過去と現在、歴史とモダニティの完璧な融合を描き出し、ピアジェならではの魅惑的で驚きに満ちた未来のビジョンを想起させます。ほぼ全てのジュエリーセットにはウォッチが含まれ、ピアジェが誇る二つの優れた技術、ハイジュエリーとオートオルロジェリーの完璧なバランスが表現されています。ピアジェは、驚くべき複雑機構を備えたウォッチ製造技術と、冒険的で斬新なファッションアートを融合させます。



PIAGET



1960年代のウォッチの文字盤で初めて登場したオーナメンタルストーンが、今日「カレイドスコープ ライツ」セットで、オペアートにインスパイアされた色鮮やかなリニアモザイクとして生まれ変わりました。このセットはドラマティックなストライプ模様のネックレス、バンドモチーフのドロップ型ロングイヤリング、リング、そして太陽光線を模した文字盤のウォッチで構成されています。ラピダリーアートの卓越した技術により、ロードクロサイト、スギライト、ヴァーダイトなどの希少な鉱石を含む多彩なオーナメンタルストーンが、一つひとつ異なる厚みで滑らかな曲線状にカットされ、奇跡のような精緻なストライプ模様を描き出しています。

1970年代に起こった“自然回帰”へのムーブメントに着想を得た「フローイングカーブ」セットは、有機的で自由なフォルムのデザインが特徴です。手作業によるハンマー仕上げが施された豊かなテクスチャーのホワイトゴールドに希少なブラックオパールをあしらひ、ハウス・オブ・ゴールドであるピアジェが誇るDecor Palace (パレス装飾) に新たな金細工技巧を加えた、華麗なコレクションです。このセットは、オパールには「さまざまな価値観や感性が織りなす」世界のすべてが映し出されていると語ったイヴ・ピアジェの、オパールへの深い愛情を讃えています。

PIAGET





美しさや希少性に加え、芸術的観点から各テーマにふさわしいと選定された見事なジュエリストンが、色彩・光・フォルムが躍動する華やかな構成の中で、重要な役割を担っています。1980年代のメンフィスによるデザインムーブメントのポップな色彩と自由奔放な幾何学的ライン、そして無邪気な遊び心に着想を得た「ウェーブ イリュージョン」セット。希少で艶やかなレッドやオレンジピンクのスピネルが際立つ輝きを放ちます。キャンディーカラーが特徴の「カーブドアーティストリー」セットの中心には、鮮やかなサンイエローサファイアが輝き、1940年代のピアジェの代表作であるシークレットリングウォッチが添えられています。ダイヤモンドがパヴェセッティングされた文字盤が、透明感のあるカボションアクアマリンの下に隠れてます。うっとりするようなコロンビア産エメラルドが、「グリーミングシェイプス」と「アーティ ポップ」セットでグラマラスな魅力を放ちます。しなやかなブレスレットと文字盤に広がる煌めく渦巻パターンが特徴的な2つのジョイフルターンズ カフウォッチでは、芸術的なパヴェセッティングが施されたジュエリストンの色彩と輝きが躍動感を放っています。一つはブルーサファイアの2色使い、もう一つは炎のようなスペサルタイトガーネットとピンクサファイアが鮮烈なコントラストを描いています。幅広いブレスレットは、卓越したジュエセッティング技術と、ハイジュエリーで初めて採用されたピアジェの薄型自動巻ムーブメントが搭載され、絹のような繊細さを表現しています。

PIAGET

躍動するアート

コレクションに新鮮な驚きをもたらす傑作「エンドレス モーション」。
モビール彫刻を思わせるデザインで制作されたテーブルクロックです。
ピアジェと芸術、そしてアーティストたちとのつながりを体現した、
この躍動感あふれる傑作は、ピアジェが長年追求してきたプレイ オブ
シェイプの究極の表現であり、メゾンが誇る大胆で遊び心あふれる精神を
讃えるものです。この革新的で型破りなアイデアを実現するため、ピアジェは
フランス人アーティストでありメゾンの友人でもある、モビール彫刻家の
アレックス・パレンスキーに制作を依頼しました。モビールの中心から広がる
揺らめく枝々には、ブルーやグリーンの有機的な形状のオーナメンタルストーンが
美しく配され、ブラックオパール製の稲妻のような輝きを映し出しています。
ピアジェの反骨精神が宿るエネルギーと、絶え間ない創造力を映し出し、
光と影が織りなす繊細な舞踏を演出する「エンドレス モーション」は、
エクストラレガンザの最高峰です。



PIAGET

ピアジェについて

ピアジェの独特の魅力はその大胆なスタイルにあります。1874年の創業以来受け継がれるクリエイティビティー溢れるスタイルは、華やかな時計やジュエリーに体现されています。大胆な創造性に対する情熱は、スイスのジュラ山脈にあるラ・コート・オ・フェで生まれました。メゾンの創立者であるジョルジュ＝エドワール・ピアジェが、その村にある家族の農場の中に最初の工房を設け、高性能ムーブメントの制作をはじめたのは1874年のことでした。このときから時計職人としてのピアジェの名は広く知られるようになります。パイオニア精神を大切にするピアジェは、1950年代後半に薄型ムーブメントの設計・製造に乗り出しました。メゾンを代表する「アルティプラノ」の礎石となるそのムーブメントはピアジェの代名詞のひとつになり、時計製造の世界に確かな足跡を残しました。同時に、ピアジェは常に創造性と芸術的な価値に重きをおき、ゴールドと色とりどりのカラーの融合、新しいシェイプ、高価な宝石、オーナメンタルストーンの文字盤といったスタイルを受け継いできました。卓越したクラフツマンシップのもと、メゾンは「アルティプラノ」、「ピアジェ ポロ」、「ライムライト ガラ」、「ポセション」、「ピアジェ サンライト」「ピアジェ ローズ」、「エクストリームリー ピアジェ」などの素晴らしいクリエイションを創り続けています。

PIAGET

WWW.PIAGET.COM

WWW.FACEBOOK.COM/PIAGET

WWW.INSTAGRAM.COM/PIAGET/

WWW.PINTEREST.COM/PIAGET/

WWW.YOUTUBE.COM/PIAGET

WWW.LINKEDIN.COM/COMPANY/

WEIBO.COM/PIAGET

#POSSESSION

#MAISONOFEXTRALEGANZA

#PIAGET150

#PIAGETSOCIETY

P

